

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	えすく羽島（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・感覚統合遊具の設置により、十分な粗大運動が促進されるだけでなく、バランス感覚や協調性、運動機能の向上にも寄与しています。さらに、各遊具は個々の発達段階に合わせた運動チャレンジを提供し、子どもたちが自信を持って安全に遊べる環境を実現している。	・個々に合わせた設定と運動メニュー。 ・設定、配置の組み替えによる興味の継続。 ・安全面を最優先にしつつ、子どもたちが自らチャレンジできる自由な遊びの要素を取り入れて、成長を促進する環境を提供。	・遊具の配置変更とともに、利用者の成長や運動能力に応じた段階的なチャレンジを取り入れることで、運動の効果や達成感を高める工夫を行う。 ・毎週の設置変更の際に安全チェックを徹底し、遊具の安全性と利用者の安心感を確保する取り組みを行うことで、安心してチャレンジできる環境を維持。
2	・活動プログラムは固定化されることなく、運動、制作、食育、おでかけなど多岐にわたる体験を提供し、利用者一人ひとりの興味や成長を促しています。	・多彩なレパートリーを取り入れ、利用者が飽きることなく楽しめる工夫を重ねている。 ・集団ごとの特徴やニーズに合わせた内容設定を実施し、最適なプログラムを提供している。	・ボランティアの招待や外部体験、イベントの拡充を検討し、より充実した活動の提供に努める。
3	・学習室と活動室が明確に区分されているため、利用者はそれぞれの目的に応じた集中環境で活動に取り組むことが可能。	・空間だけでなく、時間にも区切りを設けることで、利用者が活動にメリハリをつけ、より集中できる環境を実現している。 ・各利用者の特性やベースに合わせた学習および活動の準備を徹底し、個々の成長を最大限にサポートしている。	・学習や活動の時間に加え、余暇時間も充実させることで、利用者が心身ともにリフレッシュできるバランスの取れた環境を実現している。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者参加型のイベントが限定的であるため、保護者との交流や連携の機会が十分に確保されていない。	・保護者が参加できるイベントの開催を積極的に検討し、交流の機会を拡充する。 ・夏祭りなどの恒例行事を継続することで、地域や保護者との連携を一層深める。	・保護者の参加を促すため、日常的な交流が可能な環境整備と、定期的なイベントの計画・実施を進める。
2	・地域との交流機会が十分に提供されていない。	・地域との交流機会の拡充を積極的に検討し、事業所として地域連携の強化に努める。	・地域イベントへの積極参加を通じ、地域との連携や情報共有の強化を図る。
3	・避難訓練の実施状況が関係者に十分に周知されておらず、全員が正確な情報を共有できていない。 ・避難訓練への参加状況の把握や実施後の報告体制が未整備なため、訓練効果の検証や改善策の検討が十分に行われていない。	・避難訓練実施前の予告および実施後の詳細な報告を徹底し、関係者全体への情報共有を強化する。 ・実施曜日の選定に工夫を凝らすことで、全員が参加しやすい体制を整え、訓練効果の向上を目指す。	・適宜、月1回に限定せず、必要に応じた複数回の実施を行い、参加機会の拡充を図る。